



<バスケット部、いわき選手権で活躍>

1月13日(月)成人の日に、バスケットボールいわき選手権が赤井中と好間中の体育館で開催され、本校男女バスケット部も参加しました。初戦の結果は、男子は赤井中・内郷二中連合チームと対戦し、58-34で、女子は小名浜一中と対戦し69-32でそれぞれ快勝しました(ともにベスト8)。

今回は準々決勝となり、男子は泉中と、女子は中央台南中と対戦します。どちらも格上のチームですが、試合終了のホイッスルが鳴るまで粘り強く戦うことを期待しています。今回は1月18日(土)に平一中体育館で、女子が10:50から、男子が13:30から試合が行われる予定です。

<校庭等の復旧工事が開始>

昨年10月の台風19号による水害で校庭・テニスコート・プールが使用できなくなっていますが、今年の1月から、復旧工事が開始されました。現在は、堆積した泥などを重機ではぎ取る作業が行われています。今年度中には、校庭・テニスコートが元の状態に戻す予定になっています。随時、学校だより等で進捗状況をお伝えしていきます。



1月8日(水)



1月9日(木)



1月10日(金)



1月14日(火)

<学校運営に関するアンケートについて>

昨年の12月、生徒及び保護者の皆さんを対象に、学校運営に関するアンケートを行っていただきました。また、教職員の自己評価も実施し、これらについて結果を集計・分析しているところです。

現在、次年度の教育活動について検討しているところですが、アンケートや自己評価の結果も踏まえながら進めていきます。なお、2月に学校評議員会を開催し、学校評議員の方々に今年度の学校運営について説明等を行います。その際に、生徒・保護者アンケートと教職員自己評価についてもご覧いただき、学校関係者評価として評価していただきます。そこでのご意見等も加えて、今年度の学校運営の反省と次年度に向けたと取組等について、保護者の皆さんにお伝えいたします。

今回は、生徒及び保護者アンケート、教職員自己評価の結果の概要をお知らせいたします。

<生徒アンケートの結果>

1 全体的な傾向

全26問の質問で、肯定意見(当てはまる・やや当てはまる)が70%を超えており、学校の教育活動に対する生徒たちの評価は高い傾向にある。

2 肯定意見が他よりも高い項目(肯定評価90%以上)

- 学校の様々な活動は、楽しいことが多い(95.3%)
- 学校は、行事や生徒会活動を計画的に行っている(92.5%)
- 学校は、道徳の授業をしっかりと行っている(97.3%)
- 学校は、日頃から常識やマナーについて指導している(95.9%)
- 学校は、総合的な学習の内容や方法を工夫している(92.5%)
- 学校は、将来の生き方や進路について、計画的に指導している(91.1%)
- 学校は、健康や安全に注意して、計画的に部活動指導を行っている(91.8%)
- 学校は、交通指導や避難訓練など、事故防止のために適切に指導している(94.5%)

3 肯定意見が他よりも低い項目(肯定意見80%未満)

- 学校の教育目標を言える(71.9%)
- 学校は、様々な活動について生徒の意見を聞いて、それを生かしている(78.8%)
- 学校の授業は、分かりやすく、楽しい(76.7%)
- 学校は、情報教育や食育、キャリア教育など新しい内容を積極的に取り入れている(78.1%)

<保護者アンケートの結果>

1 全体的な傾向

全32問の質問で、肯定意見(当てはまる・やや当てはまる)が80%を超えており、学校の教育活動に対する保護者の皆さんの評価は高い傾向にある。

2 肯定意見が他よりも特に高い項目(肯定評価が95%以上)

- 学校の教育目標は、学校や生徒の実態に合っている(96.2%)
- 学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の成果や課題を適切に公表している(95.5%)
- 学校は、行事や生徒会活動を適切に計画し、実施している(97.7%)
- 学校の時程や時間割は適切である(95.5%)

- 学校は、日常生活における生徒の規範意識や道徳心を高める指導を行っている (96.9%)
- 学校は、心身の健康に関する指導を適切に行っている (95.4%)
- 学校は、交通指導や避難訓練など、事故防止のため防災・安全指導を適切に実施している (98.5%)
- 学校は、施設等の整備や管理を確実にいき、事故の未然防止に努めている (96.2%)
- 学校は、保護者と協力してPTA活動を計画的に実施している (97.0%)
- 学校は、家庭や地域に対して積極的に情報を発信している (97.0%)
- 3 肯定意見が他よりも特に低い項目 (肯定評価が85%未満)**
 - 学校は、生徒や保護者の願いを把握し、それに答える教育活動を編成している (84.1%)
 - 学校は、将来の生き方や進路について、計画的に指導している (83.3%)
 - 学校は、一人一人の個性に応じた支援について、学校全体で取り組んでいる (80.3%)

<教職員の自己評価>

1 全体的な傾向

43問の質問中35の質問で肯定意見が90%を超えているが、「当てはまる」(一番良い評価)よりも「やや当てはまる」の割合が高い質問項目が多い。

2 肯定意見が他よりも高い項目 (肯定評価が90%以上)

- 学校は、自己評価や学校関係者評価を行い、結果を公表している (100%)
- 学校は、学校評価の結果を次年度の教育活動に生かしている (92.3%)
- 年間指導計画に基づき道徳科の授業を実践し、充実を図っている (100%)
- 問題等に対して、早期に組織的な対応を行っている (100%)
- 学校は、家庭や地域に対して積極的に情報を発信している (100%)
- 個人情報保護・管理や会計事務を適切に行っている (100%)
- 組織として信頼・協力し合って教育活動に取り組んでいる (100%)

3 肯定意見が他よりも低い項目 (肯定評価が85%未満)

- 週案(週の授業計画案)を適切に作成し、その機能を十分に果たしている (66.6%)
- 家庭学習スタンダードをもとに、家庭学習の習慣化を図れるよう工夫している (58.3%)
- 将来の生き方や進路について、系統的に指導している (81.8%)
- 心身の健康の保持増進や健全な食生活等に関する指導を適切に行っている (83.3%)
- 備品や教材教具、ICT機器を十分に活用している (61.5%)

上記のアンケート結果(平均値)は高い傾向にあります。1つ1つのアンケート結果を見ると、否定意見(やや当てはまらない、あてはまらない)もあります。また、否定意見が25%を超える質問項目(4人に1人が否定意見)もあります。学校は生徒たちのためにあります。一人一人の生徒が楽しく、充実した学校生活を送れるように、私たち自身の取組を真摯に振り返り、課題等の改善に向けて取り組んでいきます。今後とも、保護者の皆さんの忌憚ないご意見をよろしくお願い致します。

<阪神・淡路大震災より25年>

今日1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日で、ちょうど25年となります。阪神・淡路大震災は1995年(平成7年)に大都市神戸を直撃した地震でした。地震の規模(マグニチュード)は7.3、最大震度は7(激震)で、亡くなった方は6,434人にものぼりました。

地震は寒さの厳しい時期に発生し、しかも午前5時46分という早朝でした。そのため自宅で就寝中の人が多く、圧死で亡くなられた方が6千人を超えました。その他、暖房器具を使っていたことなどにより各所で火災も発生しました。これらの悲惨な光景を朝のニュースで見たとき、本当のことなのかと目を疑いました。地震によるこれほど大きな被害を経験したことありませんでした。しかし、16年後、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故によって、大変大きな被害を受けました。

私たちの住む日本は、地形上、どうしても地震の発生が多いです。温泉が多いという恩恵もありますが、津波を含めた地震による被害、火山の噴火による被害などを受けてしまいます。それ以外にも台風による風水害、大雨による洪水や土砂崩れなどもあります。このような自然環境の中で生活していることを意識し、防災や安全について関心を持ち続け、いざというときへの備えをしておくことが大切だと思います。



【来週の予定】

月 日	曜日	給食	お も な 行 事
1月20日	月	○	放送朝会 月12学453の順 スペリングコンテスト(3校時) 3年三者懇談(希望者) ALT来校 あいさつ運動(小川郷駅、6:45~)
1月21日	火	○	火345612の順 3年三者懇談(希望者) SC・ALT・司書来校 文化委員会編集会議(19:00~)
1月22日	水	○	ノ一部活デー 水15342の順 3年三者懇談(希望者) ALT来校
1月23日	木	○	3年学年末テスト(1~5校時) ALT来校
1月24日	金	○	新入生説明会(受付13:15~、開始13:30~体育館) ALT来校